

京大病院を受診された患者さんへ

2026 年 6 月 3 日

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	子宮頸部腺癌の進展、悪性度の変化にかかわる分子病態の解明のための後ろ向きコホート内症例対照研究
当院の研究責任者	京都大学医学部附属病院 病理診断科 伊藤寛朗
他の研究機関および各機関の研究代表者	1) 研究代表機関 琉球大学大学院医学研究科 細胞病理学講座（研究代表者：川上史） 2) 共同研究機関 京都大学医学部附属病院 病理診断科（研究責任者：伊藤寛朗） 近畿大学医学部 産科婦人科学教室（研究責任者：松村謙臣） 公立豊岡病院 産婦人科（研究責任者：松原慕慶） 静岡県立総合病院 産婦人科（研究責任者：浮田真沙世） 和歌山赤十字病院 産婦人科（研究責任者：山西優紀夫） 熊本大学病院 病理診断科（研究責任者：三上芳喜）
本研究の目的	この研究は、子宮頸癌のたちの悪さを判断し、治療指針の確立に貢献することを目的として行います。 子宮頸癌の2割を占める腺癌は、ヒトパピローマウイルス (HPV) が発癌に関与する HPV 関連性腺癌 (HPVA) と HPV 非依存性腺癌 (HPVI) に分けられます。その悪性度と進行因子を解明し、早期診断と腫瘍の特徴に合わせた個別化治療の確立を目指し、HPVI の前駆病変の自然史解明や腺癌の進行リスクバイオマーカーの探索、HPVA の遺伝子発現と免疫微小環境の解析を行います。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2035 年 3 月 31 日
調査データ（該当期間）	2010 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間に得られた試料・研究実施期間中の経過観察情報
研究の方法 （利用する試料・情報等）	●対象となる患者さん 2000 年から 2024 年に琉球大学病院および共同研究機関において子宮頸部腺癌もしくは LEGH と組織学的に疑われた、もしくは診断された成人の患者さんで、本人または代理人から参加拒否の申し出があった場合を除きます ●利用する試料・情報 術後病理診断が行われた後の残余組織（病理組織像、免疫組織化学、RNA in situ hybridization、子宮頸癌に関する既知の体細胞遺伝子変異、遺伝子発現パターン） 診療録の情報（細胞診判定、細胞診採取日、組織採取法、組織診断、年齢、生年月、HPV テスト、閉経状況、術前画像腫瘍径、術後療法の有無・内容、再発の有無・内容、最終受診日、予後・経過、臨床検査データ（血液検査や生化学検査、腫瘍マーカーなど）

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	当院から術後病理診断が行われた後の残余組織、診療録の情報を琉球大学に提供します。
試料・情報の二次利用	研究で利用する試料・情報の将来の利用について 本研究で収集された試料および情報は、将来、医学研究の発展を目的とした別の研究に利用される可能性があります。 その場合には、改めて倫理審査委員会の承認を得た上で実施します。 また、その際には琉球大学（細胞病理学講座）のホームページ等で研究の概要を公開し、研究対象者の方が利用を希望されない場合には申し出ることができるようにします。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して ID 化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行いません。委託先など他機関との試料・情報の授受の際には、追跡可能な郵送手段を用い、電子的な授受の場合はデータをパスワード設定し安全な方法で送受信します。 ID 化の際に作成された連結表は当院の研究代表者である伊藤寛朗が管理し、他機関に提供されることはありません。
本研究の資金源 （利益相反）	当院では運営費交付金を使用します。 当院所属の研究者の利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
お問い合わせ先	1) 研究課題ごとの相談窓口 京都大学医学部附属病院 病理診断科 担当者：助教 伊藤寛朗 075-751-3488 hr27ito@kuhp.kyoto-u.ac.jp 2) 京都大学の苦情等の相談窓口 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748 E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp
利用または提供を開始 する予定日	2026 年 7 月 1 日以降